

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009仙第87号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年8月8日（土） 11時30分ごろ	
発生場所	青森県平館港東方沖 平館港東防波堤灯台から真方位112.5°400m付近 (概位 北緯41°09.4′ 東経140°38.8′)	
事故等調査の経過	平成21年8月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 遊漁船 第一金盛丸^{きんせい}、4.9トン AM3-36783（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B モーターボート^{だるま} 達磨、5トン未満（長さ6.06m） 211-8720青森、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、二級小型船舶操縦士、特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>B 船長B、一級小型船舶操縦士、特殊小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	負傷 2人（船長B、B船同乗者）	
損傷	<p>A 船首部塗料剥離及び擦過痕</p> <p>B 船首部甲板損壊</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長A1人が乗り組み、釣客7人を乗せ、遊漁を終え、平館港に向けて約15ノットの速力で手動操舵により帰航中、B船は、船長B1人が乗り組み、2人が同乗し、釣りの目的で、同港東方沖において漂泊中、平成21年8月8日11時30分ごろ、A船の船首とB船の左舷船首とが衝突した。</p> <p>B船同乗者のうち1人は、衝突の衝撃により海に投げ出された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：うねり なし、波高 なし</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	あり
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	<p>船長Aは、船首浮上による船首死角を補う適切な見張りを行わなかったため、漂泊していたB船に衝突直前まで気付かなかったものと考えられる。</p> <p>船長Bは、接近するA船に対し警告信号を行わなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、平館港東方沖において、A船が平館港に向けて航行中、B船が漂泊中、A船がB船に気付かず航行し、また、B船が接近するA船に対し警告信号を行わず、漂泊を続けたため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	